

一ノ関駅周辺整備調査特別委員会 幹事会 記録

会議年月日	令和 8 年 6 月 26 日（金）			
会 議 時 間	開会	午後 2 時 42 分	閉会	午後 2 時 57 分
場 所	第 2 委員会室			
出席委員	幹事長 佐 藤 浩 副幹事長 千 葉 信 吉			
	千 葉 誠 齋 藤 禎 弘 岩 渕 優 沼 倉 憲 二 永 澤 由 利 勝 浦 伸 行			
遅刻	遅刻 なし			
早退	早退 なし			
欠席	欠席 なし			
事務局職員	細川事務局長、畠山事務局次長			
出席説明員	なし			
本日の会議に 付 した 事 件	・ 今後の調査について ・ その他			
議事の経過	別紙のとおり			

一ノ関駅周辺整備調査特別委員会幹事会記録

令和8年6月26日

(開会 午後2時42分)

幹事長 : ただいまの出席幹事は8名であります。

全員の出席ですので、本日の会議は成立しております。

本日の案件は、御案内のとおりであります。

5月28日の特別委員会で当局から説明があったとおり、市では、一ノ関駅東口まちづくり株式会社への業務委託により進めてきた土地開発事業者の公募を中止したところであり、6月8日の記者会見で、市が直接事業主体となった整備の推進や、土地を分割して活用する方法の検討など、記者会見での市長の発言について報道があったところ です。

民間活力を基本とする開発が困難となり、整備方針が大きく変わることから、特別委員会としての今後の調査について協議いたしたく、幹事各位の御意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

整備方針の転換に係る議員各位の意見交換の場であるとか、今後の委員会の具体的調査事項として当局に説明を求める重点事項などについて、皆様から御意見をいただきたいと思います。

幹事の皆様からの御意見を基に方向性を示してまいりたいと考えております。

先日の特別委員会で公募中止したこと以外の情報は提供されておりませんので、なかなか難しいところですが、委員会としてこのままにしておくわけにもいかないため、何とか調査を進めて行きたいという考えであります。

岩渕幹事。

岩渕幹事 : 民間から行政にハンドリングを変えてきたということで大きな変化点だと思います。

やはり委員会として議員間討議する場が必要であるということと、民間大手が手を引くと言いますか、そういった状況になっているということは大変な時期なのだろうと思います。

そこで、一つには外部講師を招聘しての、オンラインでも結構ですので、それにたけた講師による研修の場が必要ではないかと思っています。

その他、民間でやってもらおうとしていた賑わい創出機能のところを中止にする、大手が手を引くという話になったときに、行政が全面的に前に出て、その中間には一ノ関駅東口まちづくり株式会社があるのですが、いよいよその会社の手腕が問われる、今まで以上に問われることになるのだろうというのがあって、本当にそこは大丈夫か、パワーはあるのか、と思うところです。

もう一つは、財源、財政的なところです。

公共施設等総合管理計画をつくっている中で、これから市が資金を出して運営していくというところが、本当に成り立つのか、大丈夫なのかというところについて、議員

間でもよくよく討議をしていくべきと思います。

そういう意味で、外部専門講師を招聘しての研修会、時代背景と将来見通しを議会ともしっかり勉強する機会があればよいと思います。

財源についても、身の丈に合った投資や稼ぐ力など、まちづくり株式会社の能力について、しっかりと見極めていく必要があります、そのために議員側もレベルアップしていくことが委員会に求められるものと思います。

幹事長：沼倉幹事。

沼倉幹事：市のほうで公募を中止したということは、市民の皆さんにダメージとして伝わっています。

市が将来に向けて大変な計画を進めようこの数年間説明してきた中で、ここに来て公募を断念することになり、がっかりしている方もいらっしゃると思います。

私はこの問題については、何回か、一般質問等の場で、とにかくスピード感が大事であると、少しでもいいから跡地利用が将来に向けて前に動いているということを早く示すべきだと発言してきたのですが、市長からは、全体として整備したほうが仕上がりがいいし、そこに民間のお金を導入していくのだと、終始そういう説明でした。

結果として、物資の高騰や様々な社会的要因で、当初考えたとおりに進めるのが無理だということで断念したということだと思います。

この間、色々な組織が登場してきたのですが、一ノ関駅東口まちづくり株式会社や民間のシンクタンクなど、そういう組織の人たちが、今、どういった思いでこの事業を考えているものかと疑問に思います。

銀行などもまちづくり株式会社に参画していると思いますが、事態が変わって、当初と違う方向に行くということで、組織内部でも色々な議論がなされているのではないかと思います。

また、先ほど岩淵幹事からは、外部講師という話がありましたが、今この現状で、土地開発事業についてこうしたほうがいい、というような話ができる人はあまりいないものと思います。

やはり、ここまで来ると市が主体的に、スピードと財源を考えて、積極的に取り組む必要があると思います。

市長も、あまり延ばすつもりはないとは言われていますが、この状況が急激に好転する社会情勢にはないと思います。

幹事長：岩淵幹事。

岩淵幹事：若干補足します。

外部講師の件ですが、こういうまちづくりをするという個別の話を講師に求めるのではなくて、今の世の中の動静、事業を取り巻く環境、情勢についての考えや捉え方を議員として認識しておく必要があるという意味であり、実務に直接つなげるということではありません。

幹事長 : ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

幹事長 : なければ、本日は、幹事会として皆さんのお話を伺いましたので、今いただいた御意見を基に、今後の調査方針については、正副委員長に御一任いただくことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

幹事長 : それでは、そのように取り進めることといたします。

次に、その他でありますがお手元に配付のとおり、今般の公募中止に関連して、6月24日付けで、議会に対する要望書が届いております。

議長宛の要望書であります。

これについて、細川事務局長から説明させます。

細川事務局長。

事務局長 : お手元に、一関街づくり協議会代表の千坂げんぼう氏から提出されました要望書の写しをお配りしております。

内容は、今般の公募中止に際し、市議会の責任において市民への説明会の開催を求めるものであります。

相手方が文書による回答を求めていることから、要望書及び別紙回答案の内容について、幹事の皆様に御確認いただきたく、よろしくお願いいたします。

幹事長 : 回答案については要望書の裏面にございますので御覧いただきたいと思います。

この件について、皆様から御意見があればお聞きしたいと思います。

議長宛の要望書でございますので、議長がお答えするものではありませんが、幹事会でも内容を共有しておきたいことから御意見を求めるものであります。

御一読いただきましたでしょうか。

議長名での回答案でございますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

幹事長 : 勝浦幹事。

勝浦幹事 : 議会改革の中で話があったとおり、今後、市民と議員の懇談会や議会報告会も予定されており、その中で質疑が出れば答えていかなければならない部分かと思っております。

幹事長 : それでは、回答案のとおり幹事会で確認したということで、この件について了承した

と思いますが、よろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

幹事長：それでは、議長名で相手方に回答することになります。
その他、皆様から何かございますか。

（「なし」の声あり）

幹事長：なければ、以上で本日予定した案件についての協議を終わります。
一ノ関駅周辺整備調査特別委員会は、活動を止めることなく、都度、情報提供を当局に求めながら進めてまいりたいと思いますので御協力をよろしくお願いします。
本日の協議事項につきましては、各会派へ持ち帰りの上、御報告をお願いします。
以上で、本日の幹事会を終了します。
御苦労さまでした。

（閉会 午後2時57分）